



2021年12月23日

各 位

会社名	広島ガス株式会社		
代表者名	代表取締役社長	松藤 研介	
(コード番号	9535 東証第一部)		
問合せ先	執行役員 総務部長	船木 孝哲	
	TEL 082-252-3000	(広報室)	

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定されている株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日プライム市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点(2021年6月30日)において、当該市場の上場維持基準を充たすべく、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

I. 新市場区分における上場維持基準への適合状況および計画期間

当社は、2021年7月9日付で株式会社東京証券取引所から、新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定の結果、「流通株式数」「流通株式時価総額」「流通株式比率」の各項目についてはプライム市場の上場維持基準を充たしておりますが、「1日平均売買代金」についてのみ基準を充たしていない旨の通知を受けました。

このような状況におきまして当社がプライム市場に移行することは、当社に対する株主さまおよびお客さまをはじめとするすべてのステークホルダーからの付託に応えるべく、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を実現していくうえで必須であるとの考えから、当社は、1日平均売買代金に関し、上場維持基準を充たすための施策に取り組んでまいります。

上場維持基準の適合に向けた計画期間については、2030年ビジョン第1フェーズ(2019年度～2021年度)の最終年度末(2022年3月末)が目前に迫ることから、2030年ビジョン第2フェーズ(2022年度～2024年度)の経営計画に当たる次期中期経営計画(2022年4月公表予定)の最終年度となる2024年度(2025年3月期)末までとし、本計画書に記載する取り組みを進めてまいります。

【当社における上場維持基準の適合状況】

	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)	1日平均売買代金 (億円)
当社の状況 (移行基準日時点)	329,325 単位	124 億円	48%	0.1 億円
上場維持基準	20,000 単位	100 億円	35%	0.2 億円
本計画書に記載の項目 (該当箇所に○印)				○

※当社の適合状況は、株式会社東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況を基に算出を行っております。

II. 上場維持基準の適合に向けた当社グループの課題、基本方針、具体的な取り組み

1. 当社グループにおける課題

1日平均売買代金の構成要素は、株価と売買高であるため、当社グループの課題として「株価の向上」および「売買高の向上」が挙げられます。

まず、「株価の向上」について、当社のPBR（株価純資産倍率）は0.5倍前後で推移しており、当社の企業価値に比して株価が低い水準にあるため、経営ビジョンや中期経営計画の目標達成等による企業価値の向上への取り組みやIRおよび株主還元施策の充実等による当社評価の向上への取り組みが必要と考えております。

次に、「売買高の向上」について、当社の現状における流通株式比率は上場維持基準に適合しているものの、売買高が低い状況にあるため、更なる流動性の向上が必要と考えております。

2. 上場維持基準適合に向けた基本方針

プライム市場の上場維持基準適合に向けた当社グループの基本方針は、次のとおりであり、株価向上と売買高向上のシナジー効果により、1日平均売買代金の上場維持基準適合をめざしてまいります。

<基本方針>

当社は2018年10月に策定した「広島ガスグループ 2030年ビジョン」を企業価値の向上および株価の向上に向けた長期的方針として位置付け、目標達成に向けた取り組みの継続により、揺るぎない経営基盤を構築していくことで、当社グループを永続的な成長へ導くことをめざしてまいります。

次に、2030年ビジョンの第2フェーズ（2022年度～2024年度）を対象とする次期中期経営計画（2022年4月公表予定）を中期的方針として位置付け、SDGs実行宣言、2050年カーボンニュートラルへの取り組み等を次期中期経営計画に沿って着実に進めることにより企業価値を持続的に向上させるとともに、IRおよび株主還元施策の充実を通じて当社株式の価値を高め、魅力あるものとするにより「株価の向上」をめざしてまいります。

さらに、政策保有株式についての保有合理性の検証や各種施策の検討および実施により、当社株式の更なる流動性の向上を通じて「売買高の向上」をめざしてまいります。

3. 具体的な取り組みの内容

プライム市場上場維持基準のうち、「1日平均売買代金」の充足に向けた具体的な取り組みの内容については、添付の『プライム市場の上場維持基準適合に向けた広島ガスグループの具体的な取り組み』に記載の通りです。

以 上



プライム市場の上場維持基準適合に向けた 広島ガスグループの具体的取り組み

2021年12月23日

広島ガス株式会社

HIROGAS

目次

1. 上場維持基準適合に向けた基本方針 . . . 3

2. 株価向上に向けた取り組み

(1) 2030年ビジョン達成に向けた諸施策の推進 . . . 4

(2) 「広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言」の
重点項目推進 . . . 8

(3) 「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」の推進 . . . 11

(4) I Rおよび株主還元施策の充実 . . . 17

3. 売買高向上に向けた取り組み . . . 22



1. 上場維持基準適合に向けた基本方針



(1) 株価の向上

当社は2018年10月に策定した「広島ガスグループ 2030年ビジョン」を企業価値の向上および株価の向上に向けた長期的方針として位置付け、目標達成に向けた取り組みの継続により、揺るぎない経営基盤を構築していくことで、当社グループを永続的な成長へ導くことをめざしてまいります。

次に、2030年ビジョンの第2フェーズ（2022年度～2024年度）を対象とする次期中期経営計画（2022年4月公表予定）を中期的方針として位置付け、SDGs実行宣言、2050年カーボンニュートラルへの取り組み等を次期中期経営計画に沿って着実に進めることにより企業価値を持続的に向上させるとともに、IRおよび株主還元施策の充実を通じて当社株式の価値を高め、魅力あるものとするにより株価の向上をめざしてまいります。

(2) 売買高の向上

政策保有株式についての保有合理性の検証や各種施策の検討および実施により、当社株式の更なる流動性の向上を通じて売買高の向上をめざしてまいります。

2. 株価向上に向けた取り組み



(1) 2030年ビジョン達成に向けた諸施策の推進

当社グループは2018年10月に策定した「広島ガスグループ2030年ビジョン」において、2030年度の経営目標として「広島ガスグループは連結経常利益70億円規模の企業グループに成長する」を掲げており、目標達成に向けた取り組みの継続により、揺るぎない経営基盤を構築していくことで、当社グループを永続的な成長へ導くことをめざしてまいります。

「広島ガスグループ2030年ビジョン」の内容は、以下のURLをご参照下さい。

【URL】 https://www.hiroshima-gas.co.jp/com/ir/management/management_06.html

2. 株価向上に向けた取り組み

広島ガスグループ2030年ビジョン①

スローガン	幸せにつながる感動発信
基本方針	1. 経営施策を通じた感動追求
	2. エネルギーサービスを通じた感動追求
	3. 安心を通じた感動追求
	4. 人とのつながりを通じた感動追求
基本戦略 (チャレンジ)	1. 総合エネルギー事業の更なる拡大
	2. 環境への貢献につながる事業展開と次世代エネルギーの研究
	3. デジタル技術の活用による高付加価値の創造
	4. グループ組織力の強化
	5. 安心安全の更なる追求
	6. 社会貢献活動の推進

経営理念 : 地域社会から信頼される会社をめざす

2. 株価向上に向けた取り組み

広島ガスグループ2030年ビジョン②

2030年度経営目標

広島ガスグループは連結経常利益70億円規模の
企業グループに成長する

2030年の目指す姿

(1) 販売量

	2020年度実績	2030年度
都市ガス事業	569百万m ³	750百万m ³
LPG事業	83千t	120千t

(2) 事業構成比

	2020年度実績	2030年度
都市ガス事業	79%	70%
LPG事業	18%	20%
その他事業	3%	10%

※構成比は事業の規模感を示し、売上高比率のイメージ。

2. 株価向上に向けた取り組み

広島ガスグループ°2030年ビジョン③

2030年の目指す姿

(3) 経営指標

		2020年度実績	2030年度
収益性指標	ROA	4.7% (2.0%) ※3	3.5%以上
	ROE	9.9% (4.1%) ※3	8%以上
	EBITDA※1	106億円	160億円以上
安全性指標	自己資本比率	49.2%	50%程度
株主還元	配当性向	12.9% (31.3%) ※3	30%以上※2

※1 EBITDA=営業利益+減価償却

※2 短期的な利益変動要因を除く

※3 ()内は特別損益(4,301百万円)の影響を除く

2. 株価向上に向けた取り組み



(2) 「広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言」の 重点項目推進

当社グループは昨年10月に策定した「広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言 ～笑顔あふれる未来へのAction～」への取り組みを通じて、2030年ビジョン達成につながる事業活動と、国連で2030年までの目標として採択されたSDGsを「共通の目標」と捉え、これまで展開してきたESGを意識した不断の取り組みを強化し続けてまいります。

「広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言」の内容は、以下のURLをご参照下さい。

【URL】 <https://www.hiroshima-gas.co.jp/sdgs/>

2. 株価向上に向けた取り組み

広島ガスグループ このまち思い SDGs 実行宣言 ①

広島ガスグループ
このまち思い SDGs 実行宣言 ~笑顔あふれる未来へのAction~



2. 株価向上に向けた取り組み

広島ガスグループ このまち思い SDGs 実行宣言 ②

SDGs 実行宣言 4つの重点項目

① エネルギーの普及拡大・安定供給



基幹事業であるガス体エネルギーの普及拡大・高効率利用・安定供給等を通じて、持続可能な社会に貢献してまいります。

③ 環境保全



環境にやさしい天然ガスの普及拡大に加え、バイオマスエネルギーをはじめとする再生可能エネルギーの普及拡大や森林保全活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

② 地域社会への貢献



広島ガスグループは、これまで110年以上にわたって、地域の皆さまと共に歩んでまいりました。今後もこのまちとのパートナーシップを推進し、地域社会の発展に貢献してまいります。

④ 働きやすい社会のために



労働安全衛生の取り組みの充実を図り、一人ひとりが働きがいをもって仕事に取り組み、成長し、活気のある職場環境の実現に力を入れてまいります。

2. 株価向上に向けた取り組み



(3) 「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」の推進

当社グループは、本年10月に「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」を策定いたしました。

2030年までは、これまで実行してきた取り組みを中心に事業活動やお客さま先におけるCO₂排出量の低減を着実に進めてまいります。

将来的には、メタネーションや水素の利用による「ガス自体の脱炭素化」に取り組むとともに電源の脱炭素化も含め、2050年のカーボンニュートラルをめざしてまいります。

「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」の内容は、以下のURLをご参照下さい。

【URL】 https://www.hiroshima-gas.co.jp/com/w_new/release/2021/carbon1105.htm

2. 株価向上に向けた取り組み

「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」の推進①

広島ガスグループにおける 2050年カーボンニュートラルへの取り組み

- ・ 2030年までは、これまで実行してきた取り組みを中心に事業活動やお客さま先におけるCO₂排出量の低減を着実に進めていきます。
- ・ 将来的には、メタネーションや水素の利用による「ガス自体の脱炭素化」に取り組むとともに電源の脱炭素化も含め、2050年のカーボンニュートラルをめざします。

2. 株価向上に向けた取り組み

「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」の推進②



2030年度目標

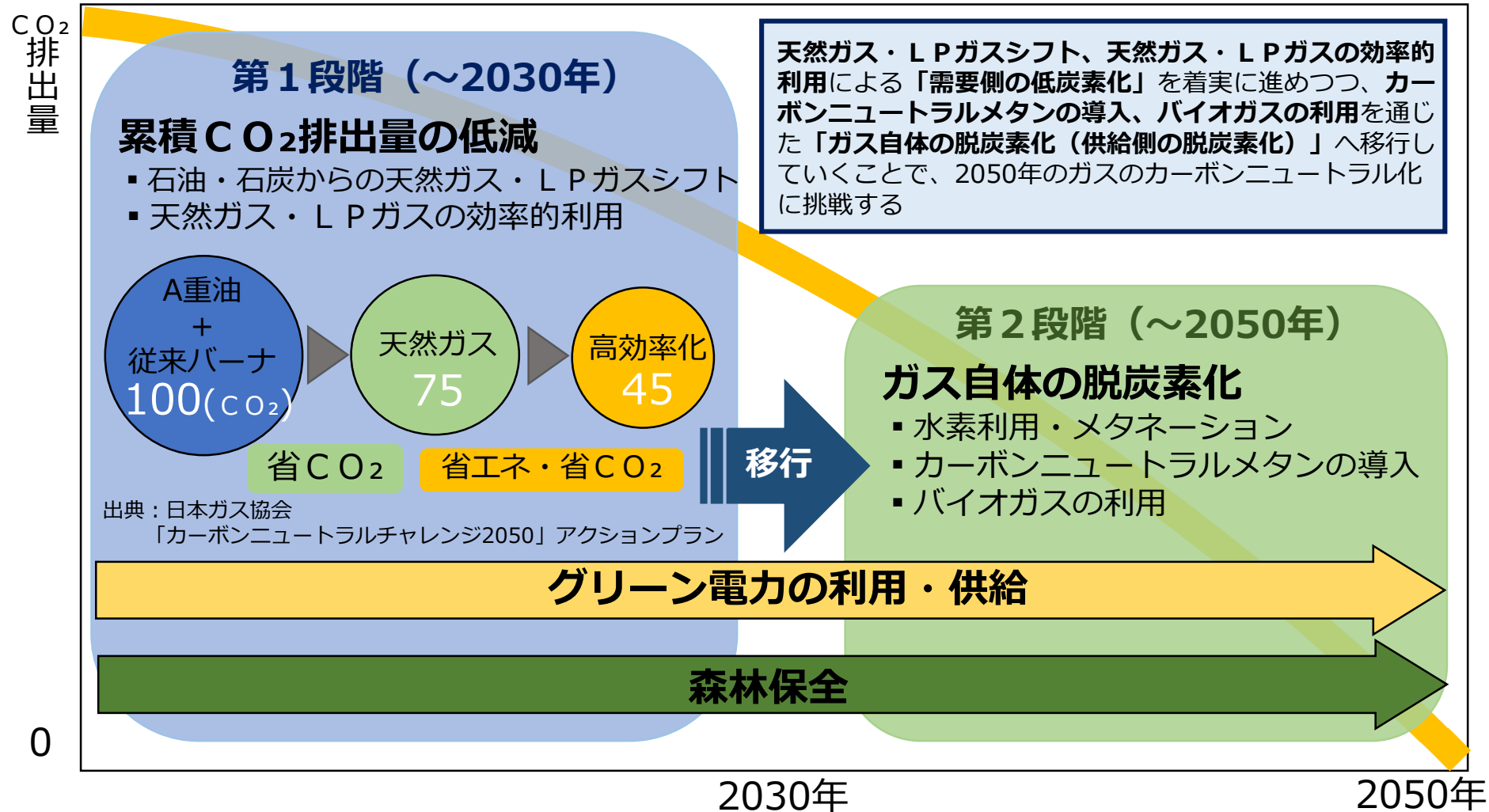
- ◆ CO₂排出削減貢献量 30万 t / 年^{※1}
- ◆ 再生可能エネルギー電源 6万 kW^{※2}
- ◆ 広島ガス事業所・製造所におけるCO₂排出量 2013年度比50%減^{※3}

- ※1 当社およびお客さま先における2030年度時点でのCO₂排出削減貢献量（2021年度～）
- ※2 太陽光、風力、バイオマスなど固定価格買取(FIT)制度の適用電源を含む
- ※3 CO₂排出削減貢献量30万 t / 年に含む

2. 株価向上に向けた取り組み

「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」の推進③

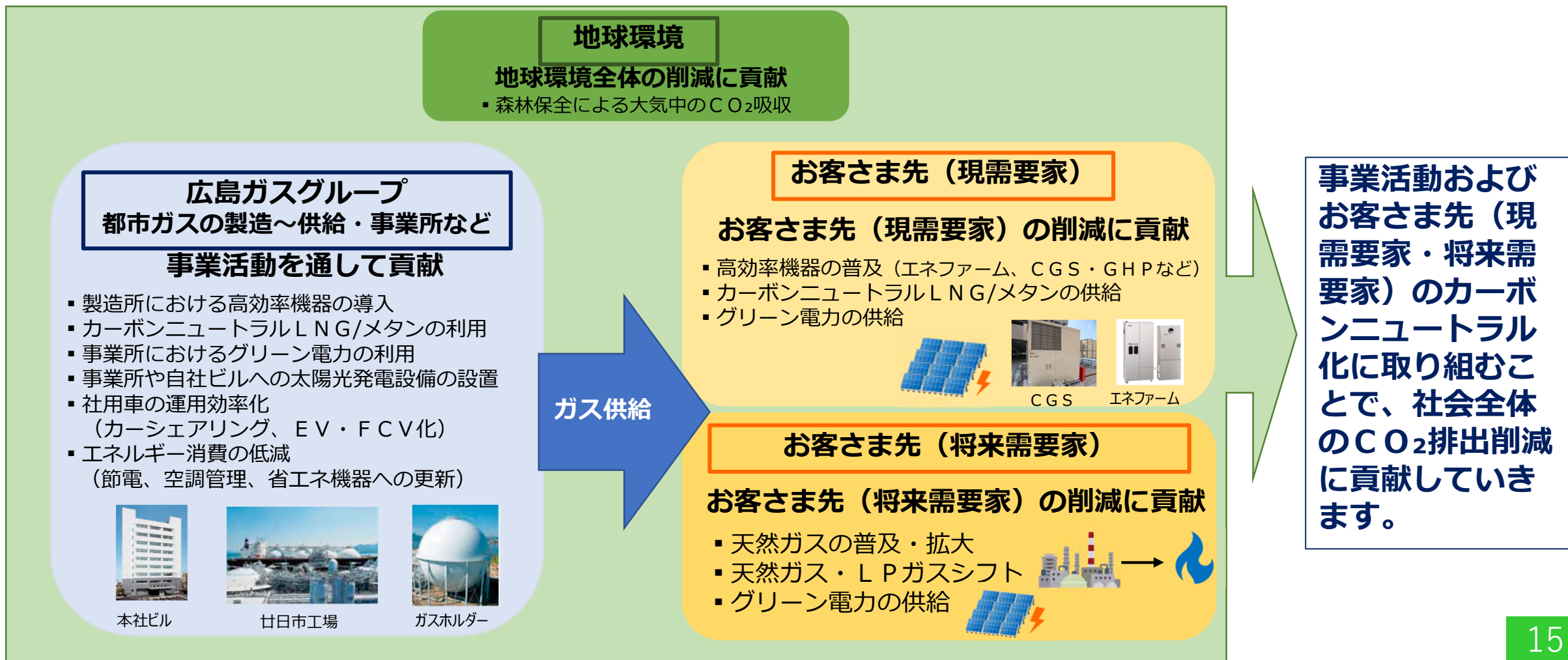
【広島ガスグループ取り組みの基本的な考え方】



2. 株価向上に向けた取り組み

「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」の推進④

【社会全体のCO₂排出削減に向けた広島ガスグループの貢献】



2. 株価向上に向けた取り組み

「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」の推進⑤

【2050年カーボンニュートラルに向けたロードマップ】



2. 株価向上に向けた取り組み

(4) I Rおよび株主還元施策の充実

I Rおよび株主還元施策の充実を通じて当社株式の価値を高め、魅力あるものとするにより株価の向上をめざします。

① I Rの充実

コロナ禍の影響を想定し、I R説明会のリアル開催を基本としつつ、状況に応じてW e b開催への対応も進めることにより、株主さまへのP R機会を確保するとともに、当社ホームページ内のI R情報の充実に向けた取り組みを継続します。

当社ホームページのI R情報は以下のURLをご参照下さい。

【URL】 <https://www.hiroshima-gas.co.jp/com/ir/>

2. 株価向上に向けた取り組み



②株主還元施策の充実

当社は、徹底した経営効率化と積極的な営業活動の展開により、安定配当を継続することを基本方針としつつ、中長期の利益水準等を総合的に勘案し、成長に合わせた配当を実施するものとし、配当の実施にあたっては、安定的・継続的に配当を行う基本方針のもと、短期的な利益変動要因を除き、連結配当性向30%以上をめざすことを配当政策の基本としております。

配当額については、2010年度の1株当たり6円から2020年度には同10円へと増加させてまいりました（配当額および配当性向の推移は、20ページおよび21ページをご参照下さい）。

また、配当以外の株主還元施策として、2012年11月に株主優待制度を導入し、さらに2020年2月には、保有株式数や保有期間によってポイントを加算する仕組みを取り入れるなど、制度の充実を図ってまいりました。

今後も当社株式への投資の魅力を高めることを目的として、株主還元施策の充実をめざしてまいります。

当社ホームページの株主優待制度は、以下のURLをご参照下さい。

【URL】 https://www.hiroshima-gas.co.jp/com/ir/stock_bond/stock_bond_03.html

2. 株価向上に向けた取り組み

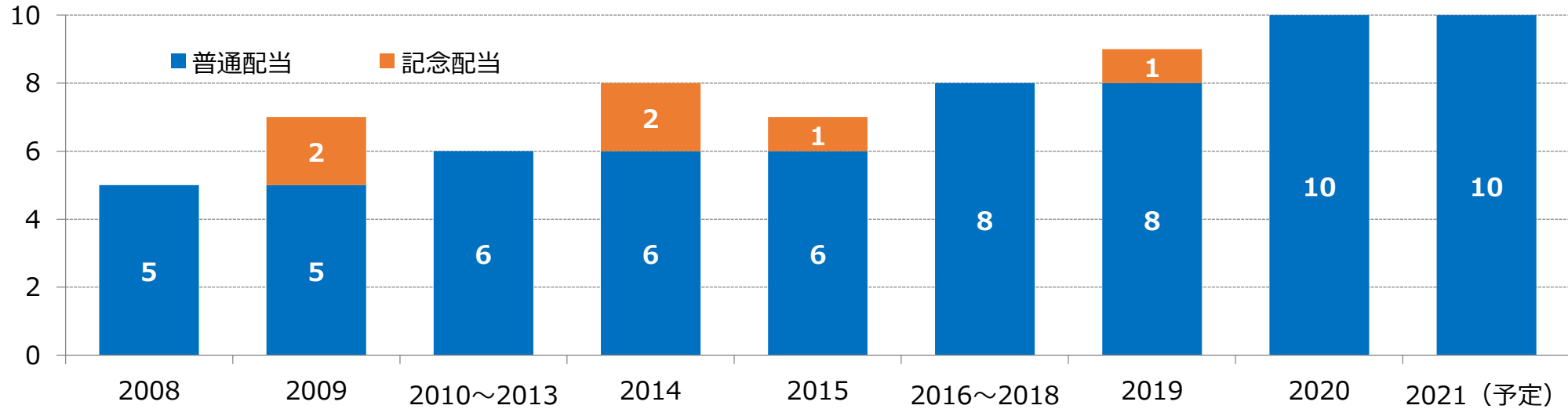
広島ガスの株主還元方針

- ①徹底した経営効率化と積極的な営業活動の展開により、安定配当を継続することを基本方針としつつ、中長期の利益水準等を総合的に勘案し、成長に合わせた配当を実施
- ②短期的な利益変動要因を除き、連結配当性向30%以上をめざす

2. 株価向上に向けた取り組み

広島ガスの株主還元の状況

配当額の推移

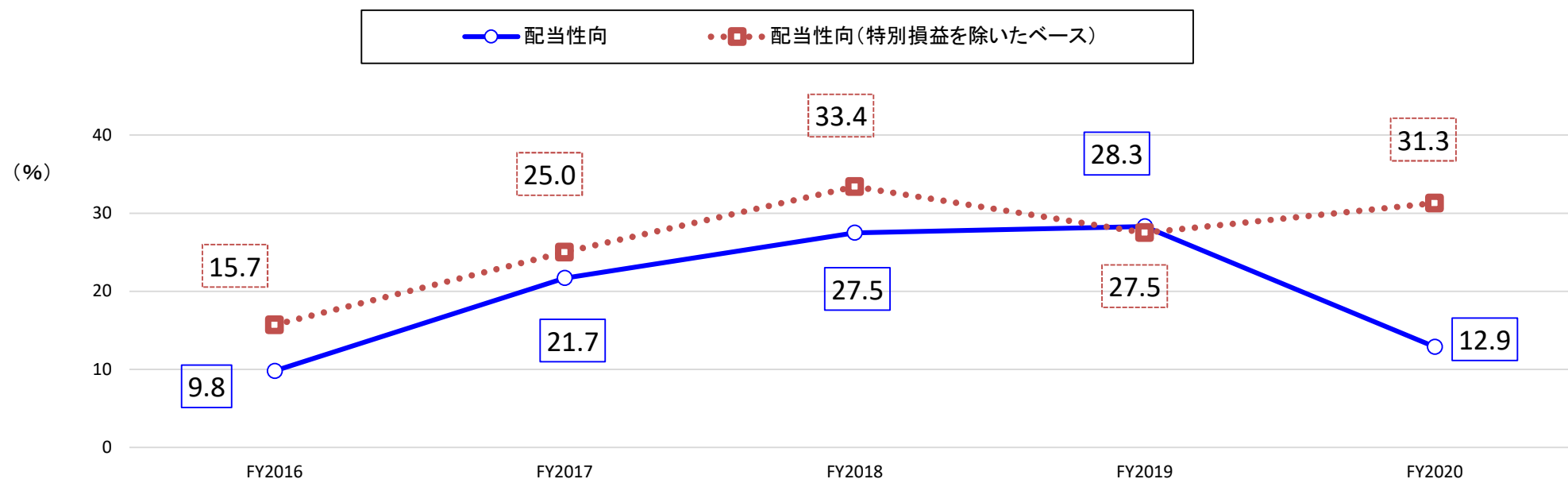


※ 2009年度は創立100周年、2014年度は東証一部指定、2015年度は天然ガス供給開始20周年、2019年度は創立110周年に対して、記念配当を実施。

2. 株価向上に向けた取り組み

広島ガスの株主還元の状況

配当性向の推移



3. 売買高向上に向けた取り組み

当社の現状における流通株式比率は、既に上場維持基準に適合しておりますが、更なる流動性の向上に向けて、政策保有株式については、コーポレート・ガバナンス報告書において公表している方針に則り、個別銘柄毎に定性面・定量面から検証を行い、保有合理性がないと判断された株式については縮減を図ってまいります。このうち、当社株式保有先については、各保有先の方針を尊重することを前提としつつ、持合いの解消を視野に、調整を進めてまいります。

(注) 本資料に掲載されている経営目標等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後のさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります